

第2章

将来フレーム

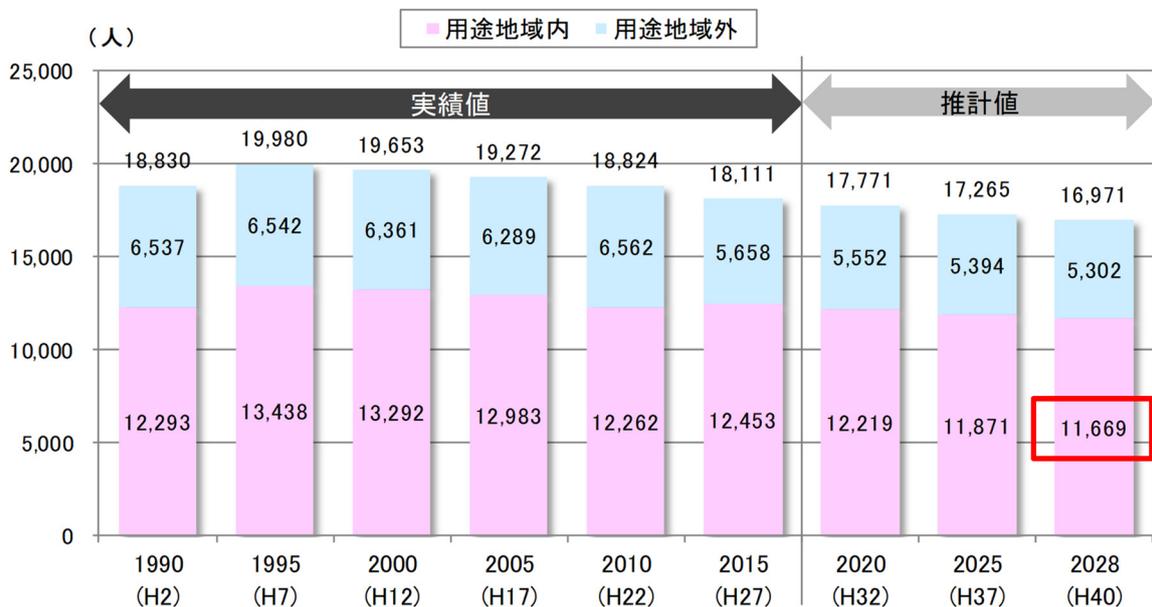
将来フレームとは、計画的なまちづくりを進めるための将来のまちの状況を示す基本的な指標として、将来における人口や産業、土地利用の状況を想定したものです。

都市計画マスタープランでは、これまでの人口や産業の動向などから、計画期間の最終年である2028（平成40）年の人口、産業、土地利用について想定し、将来人口フレーム、将来産業フレーム、将来土地利用フレームを設定します。

第1節 将来人口フレーム

本町全体の2028（平成40）年の将来人口としては、御嵩町人口ビジョンと整合を図り、16,971人を想定します。そのうち、用途地域内の人口は、2015（平成27）年時点の町全体に占める用途地域内の人口比率（0.69）が今後も一定として計算し、2028（平成40）年の用途地域内人口11,669人を将来人口フレームとして設定します。

図 将来人口フレーム



資料：国勢調査（実績値）、2015（平成27）年策定御嵩町人口ビジョン（推計値）